

ゆたか診療所建設ニュース

No. 3

建設施行业者も決まり、いよいよ11月中旬から工事がはじまりました。これに先立ち、10月29日(月)、下神明天祖神社宮司主斎のもと、建設地でしめやかに地鎮祭が執り行われました。



募金・地域共同基金の状況（11月15日現在）
募金 558万円（305件）／ 基金 1,873万円（79件）

2013年8月の開設に向けて、いよいよ工事がはじまりました。近隣にお住まいの方々には工事期間中、騒音などご迷惑をおかけすることと思いますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。地域のみなさまによりよい医療を提供できるよう、職員一同とくんでまいります。

移転新築のため設立した募金・地域共同基金も上記のような状況となっております。ご協力ありがとうございます。診療所移転新築を成功させるため引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

かがやき事例

その15

今回は、すずらんゆたかからの事例報告です。
Aさんは認知症が進み、膝関節症になっていました。意欲の低下から、ご自分からはほとんど身体を動かさず、話すこともほとんどありませんでした。
介護環境としては、いくつかの事情が重なり、最低限の訪問しかできませんでした。



かがやき事例発表会
Aさんの状態から考えると、日に3回以上の訪問が必要でしたが、できないこともあり、往診や訪問看護と連携をはかり褥瘡の悪化を防いだり、Aさんや息子さんの嫌がる言動を注意しあつていました。介護物品が十分に準備されていないこともあり、いただき物の紙おむつやパットを提供したりしました。

親子で、静かに暮らしたい思い

息子さんの母親に対する考え方としては、嫌がることは無理強いせず、穏やかに見守りたい。また、自分のことを息子と認識しているうちは施設に入れず、家で見ていきたい。そんな意向がありました。母親のことを認知症とひとくくりにして片付けず、ご本人の心理分析をして常に気持ちを尊重していました。そのためヘルパーに関しても主に接遇の分野で遠慮しながらですが、ご指摘も多くありました。

ヘルパーの役割を果たす

介護環境や、2人の心の内をみんなで受け入れ、静かで深い親子の絆を第一に考えました。暗い家庭にならないように、そ

してヘルパーが一筋の光となるように明るく優しい対応を心掛けました。できる限り在宅で看たい気持ちに寄り添い、とくに衛生面の部分で役割を担いました。身体面、環境面からも介護が行いにくかったのですが、頭の先から足の指の間一つひとつ丁寧にケアをしました。

月に1回あるかないかのショートステイに行く以外は入浴をされていないので、清拭は部分的に日々行いました。また、少ないおむつ交換で、パットをじゃばら折にして使い、漏れないおむつの当て方を徹底して行いました。ある日息子さんから「このヘルパーさんたちはとても良くやってくれていてすね」と訪問看護師が感心していたとの話がありました。

そんな中、体調の変化がいよいよ訪れました。経口摂取がほとんどできなくなったのです。往診からは胃ろうをすすめられましたが、息子さんは当初拒

介護ホットラインのご案内

城南保健生協には5カ所の訪問介護事業所（ヘルパーステーション）があります。介護についてのご相談はお気軽に連絡をください。

ヘルパーさん大募集中です!! 一緒に働きませんか?
3762-0106 すずらん本部（平和島）

「城南の保健」手配りボランティア募集

城南の保健は組合員と協力医療機関、事業所職員のボランティアによって、手配りで配達されています。手配りは組合員どうしの助け合いでも大変重要な活動です。手配りボランティアをして下さる方には援助金が出ます。みなさんのご協力をお願いします。

南品川1～2丁目	13件	田園調布4丁目	4件
八潮5丁目1	18件	田園調布5丁目	6件
二葉1丁目12～23	25件	南久が原2	36件
中延6丁目	15件	大森西3丁目1	4件
東六郷2丁目5～16	25件	大森西3丁目2	6件
南六郷2丁目10～19	19件	大森西3丁目20～27	9件
南六郷3丁目1～15	16件		
南蒲田1丁目	29件		
南馬込1丁目3～6	3件		
南馬込3丁目35～37	6件		



息子さんの言葉

しばらくして息子さんが、こんな風におっしゃってくださいました。「ヘルパーさんにはいろいろと面倒なことを言つて大変だったと思いますが、本当にありがとうございました」。

計画に沿い、介護の内容を忠実に、在宅介護を支える心を持ち、訪問した一人ひとりのヘルパーに対して息子さんが理解していただくための、とても誇らしく、うれしく、そして今後の励みになりました。なによりも安らかに眠られたご本人のことを思うと、本当に良いケアができて良かったと実感できました。

11・11反原発100万人大占拠

東日本大震災から1年8カ月を迎えた11月11日(月)、日比谷公園でデモ行動をする予定が、許可が下りずに泣く泣く各地で抗議行動が行われました。全国230カ所での抗議行動で、東京では主に首相官邸前と国会正門前に集結して、雨の中、国民それぞれ思いをぶつけました。
率直にすごいと感じました。これが歴史が変わる瞬間だと思いましたが、次の日、ほとんど報道されないのが許せない。これは財界と国民のせめぎ合いだと思います。これにとどまらず、もっと大規模なものをやり、絶対に原発を廃炉にしたいです。
(本部事務局 伊藤 豪)



戸越銀座 商店街で 青空健康相談会を開催

10月23日(火)、西品川支部で、久々に青空健康相談会を行いました。開催したいと思いが、場所が見つかりませんでした。が、戸越銀座商店街の団子屋さんが定休日には軒先を貸してくれたことになり、ようやく開催。当日は、三ツ木診療所・歯科、みつき薬局の職員、西品川支部の組合員など11人が参加。商店街という場所柄人通りも多く、21人の方がチェックを受け、1人が加入してくれました。小雨気味の天候だったため、骨密度測定はできませんでしたが、次回はずいぶん、やってみたいですね。

ゆたかの家 町の文化祭に今年も出展



11月3日(土)、戸越公園駅南口商店街で行われた“秋の祭典 街のアーティスト”に今年も参加しました。すずきの句会、絵手紙、書道サークルがそれぞれ作品を出展し、文化祭に華を添えました。